



ジオさんぽ仙台 2017 参加者募集のご案内

「仙台の地形と地質とつながる歴史（仮）」
（仙台城跡から広瀬川中流）

平成 29 年 10 月 28 日（土）

10:00～15:00【集合 10:00（伊達政宗騎馬像横）】



○ジオさんぽ仙台の見どころ

仙台は、1601(慶長6)年伊達政宗による開府以来、その地形・地質的特徴を利活用し発展してきました。たとえば、地下資源の利用として、仙台城石垣の石材は近郊から調達されましたし、燃料の「亜炭」も広く用いられました。

生活・産業発展に欠かせない水については、広瀬川や段丘下の伏流水が藩政期から用水、水力発電、酒造用にもつかわれました。

一方で負の側面もあります。基盤の地質は人力で掘削可能なほど軟質な反面、旧亜炭坑道や防空壕の陥没、河川侵食による斜面崩落が進行しています。

また、長町-利府線をはじめとする活断層の存在も気にかかるところです。

ルート：仙台城跡～追廻～川内～澱橋付近
（裏面ルート図参照）

対象：仙台の地形や地質に興味のある方
（15名程度）

参加費：無料

※但し、現地までの往復交通費は各自負担ください

資料：当日配布します

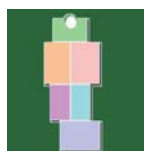
申込先：日本応用地質学会東北支部

事務局：E-mail tohoku@jseg.or.jp

TEL 022-237-0471 新田、石川

090-5234-8622(ジオ散歩 WG 橋本)

主催：日本応用地質学会東北支部



<http://www.jseg.or.jp/tohoku/>

〇ジオさんぽ仙台のルート



おうようちしつがっかい
応用地質学会?

一般社団法人応用地質学会東北支部は、地質研究者・地質実務家（いわゆる「地質屋」）からなる集団です。

今年度から、東北地方で応用地質的観点から興味深い地域について、その特徴を散歩のガイド・読み物として冊子にまとめる企画に取り組んでいます。

地質屋集団として、関連する過去の文献・資料を整理し、現在の地質露頭状況も確認の上、「散歩」コースを皆さんと一緒に歩きます。

今回、第一回目として『ジオ散歩・仙台』を実施します。



〇日 程（番号は地図参照）

集合・出発 10:00

1. 本丸跡から仙台の地形を見る
（立体地図、立体空中写真、古地図等使用）
【段丘、定禅寺跡、七ツ森火山、化石谷、金華山】
2. 本丸跡から下城、ルート沿い
【石垣とその石材の由来を観察し追廻地区へ】
3. 仙台城東崖の露頭地層、浸食による崖地形変化
【火砕流堆積層（広瀬川凝灰岩）や亜炭層を観察】
4. 追廻～大橋河床の地質や崖の崩落など観察
【水力発電所・取水設備の遺構（時間あれば）】
【あまりに規則的すぎる河床のポットホール】
【片倉小十郎屋敷跡～国際センター～仲の瀬橋】
途中・昼食（基本的に弁当持参）
5. 仲の瀬橋～西公園対岸から花壇自動車学校
【地層の広がり、岩盤の硬軟、透水性の違い】
【元禄時代の「坂」の痕、崖崩落の防護設備を観察】
6. よどもみ橋下で、化石採取（河床の条件よければ）
※岩石ハンマー数本は主催者側で用意します。

解散 15:00 ころ（川内・県美術館付近）



この石垣とジオの関係?



がけが語る物語とは?

個人で用意する持ち物・服装など

1. 昼食（弁当）、飲み物適宜
2. 歩きやすい服装・靴
3. 雨天対策（折りたたみ傘、雨合羽など）